

委託試験成績書

アイテル株式会社 殿

委託試験成績書番号 : 2016-1-476

委託試験名 : シートバックモニター衝撃試験

プロジェクト・チーフ : 0894 : 須藤 大輝

検査者 : 0522 : 池延 正勝

検査年月日 : 2016.08.22

一般財団法人 日本自動車研究所

シートバックモニター衝撃試験成績書

試験内容 シートバックモニター衝撃試験

試験期日 平成28年8月19日(金)

試験機関 (一財)日本自動車研究所 印

1. 試験品

製品名 Sumamoni (スマモニ)

型式 AIT-SMAJ

2. 試験装置

装置名 サブシステム衝撃試験装置

型式 製造番号21408

データ収録装置 (株)共和電業 DIS-3000B

加速度計 (株)共和電業 AS-500HA

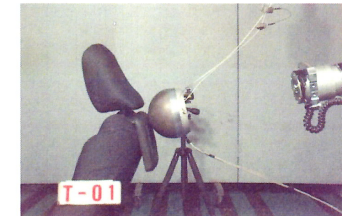
記録時間 データ収録時間 0~150ms

3. 試験条件

試験場所 安全研究棟 衝撃実験室

衝撃位置 図参照

衝撃速度 $24 \pm 1 \text{ km/h}$



4. 試験結果

TEST No.	温度(℃)	湿度(%)	衝撃速度(km/h)	結果(msec)
T-01	20.3	63	24.0	0.0
T-02	21.2	60	24.2	0.0
T-03	20.2	63	24.2	0.0

試験波形データ (別紙)

5. 総合判定

基準 試験装置の頭部模型に発生する減速度は、3.0msec以上連続して784m/s² (80G)を超えないこと。

判定 適 本

車検時のご対応に関して

本製品をご購入のお客様へ

- ・本書は自動車検査証とあわせて大切に保管してください。
- ・本書は車検時に必要となる書類です。
車検の際、必ず検査官、もしくは車検を依頼されるご担当者様に本書をお渡しください。

シートバックモニター衝撃試験

1. 試験目的

本試験は、道路運送車両の保安基準第 20 条（乗車装置）5 項の要件に適合しているかどうかを確認するため、同保安基準の別添 28（インストルメントパネルの衝撃吸収の技術基準）に準拠した頭部衝撃試験を実施し、本製品の衝撃吸収性能を把握する。

2. 試験日および試験場所

試験日：平成 28 年 8 月 19 日（金）

試験場所：一般財団法人 日本自動車研究所 安全研究棟 衝撃実験室

3. 試験方法

気圧式加速シリンダ装置を使用して、頭部模型（直径 165mm の球状又は半球状剛体模型でその有効質量は 6.8kg）を衝突速度 $24 \pm 1\text{km/h}$ でシートに固定したシートバックモニターに衝突させる。図 1 に試験状況の外観を、図 2 に打撃ポイントを示す。

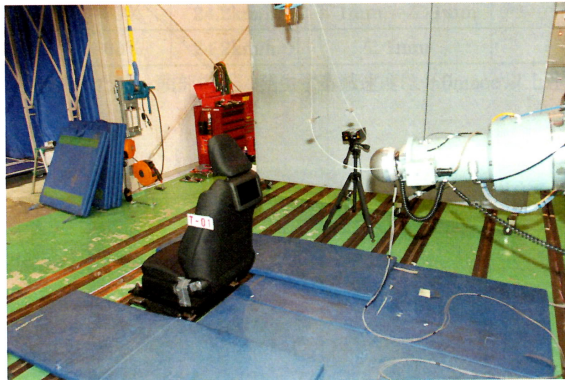


図 1 試験状況外観



図 2 打撃ポイント

技術基準適合確認書

製 品 名	Sumamoni（スマモニ）
製 品 型 番	AIT-SMAJ
試 験 分 類	シートバックモニターの衝撃試験
試 験 設 備 機 器	サブシステム衝撃試験装置 製造番号 21408
試 験 委 託 機 関 名 称	一般財団法人 日本自動車研究所
適 用 技 術 基 準	別添 28（インストルメントパネルの衝撃吸収の技術基準） ※衝突時、頭部に受けた際の衝撃に関する安全性を検証するため、上記基準に適合しているかどうかを確認した。
判 定 基 準	試験装置の頭部模型に発生する減速度は、3.0msec 以上連続して 784m/s ² （80G）を超えないこと。
試 験 結 果	モニター上部中央（T-01）、モニター上部左（T-02）、モニター上部右（T-03）のそれぞれの箇所での測定。いずれにおいても頭部模型に発生する減速度が 784m/s ² （80G）を超えることはなく、本シートバックモニターは当該適用技術基準に適合している。
試 験 成 績 書	委託試験成績書番号 2016-1-476
確 認 書 発 行 元 （試 験 委 託 者）	アイテル株式会社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-3-12 新大阪明幸ビル 6 階

技術基準適合に関する窓口

TEL:06-6190-6100（担当部署：アイキュー）

※お電話の際、「スマモニの技術基準適合に関するお問合せ」とお申し出ください。

受付時間 月～金曜日 9:30～18:00（土・日・祝および弊社休業日を除く）